



東地中海地域ニュース

サウジアラビア：オバマ米大統領のサウジ訪問

(6月3日付サウジ国営通信、4日付現地各紙)

3日付サウジ国営通信および4日付現地各紙は、3日から4日のオバマ米大統領のサウジ公式訪問について、多数の写真を掲載し、特集頁を組むなど、大きく紙面を割いて報じている。報道の概要は以下の通りである。

1. 3日午後、オバマ米大統領は、リヤドのキング・ハーリド国際空港に到着し、アブドゥラー国王の出迎えを受け、両国国歌演奏、儀仗兵閲兵、礼砲21発などの公式行事に臨んだ(ナーフ第二副首相兼内相、サッターム・リヤド州知事代理他同席)。

2. 歓迎行事に続き、アブドゥラー国王とオバマ大統領は、サウド外相、アハマド内務副大臣、ムクリン総合諜報庁長官などの挨拶を受けた後、滞在先(ジャーナドリーヤ農場)へ向かった。

3. 3日、首脳会談(1回目)

(1) 両国首脳は、ジャーナドリーヤにおいて公式会談を行った。

(2) 会談冒頭、アブドゥラー国王はオバマ大統領に対し、キング・アブドルアジーズ最高勲章を授与した。

(3) オバマ大統領発言

(イ) 今般の訪問は自分にとって初のサウジ訪問となるが、アブドゥラー国王とはこれまで何度も協議し、先般はお目にかかる機会を得た(注：ロンドンで開催されたG20サミットの機会を利用して)。

(ロ) 自分は常に国王の知恵と寛大さに耳を傾けてきた。米国とサウジは長い友好の歴史を持っており、双方は戦略的關係で結ばれている。

(ハ) 今回、中東訪問ツアーはリヤドから始め、明日カイロを訪問する。イスラム揺籃の地であるサウジをまず訪れ、我々双方が直面する様々な問題についてアブドゥラー国王の忠告に耳を傾けることが重要だと考えた。

(ニ) 両国がともに努力し、我々双方が直面する諸問題を進展させることができると信じている。

(4) アブドゥラー国王発言

(イ) 今般の訪問に感謝する。

(ロ) 米国は、アブドルアジーズ初代国王とルーズベルト大統領以来の友人である。

(ハ) 大統領の地位に相応しいこの優れた人物が代表する友、米国国民に対して挨拶を送る。

(5) 続いて、両首脳は、パレスチナ問題をはじめとする地域・国際情勢、二国間協力の可能性、両国および両国民の利益にかなう様々な分野における協力強化の方途について協議した。

4. アブドゥラー国王は、ジャナードリーヤの私有農場において、オバマ大統領一行を歓迎する午餐会を催した。

5. 同日夕刻、両国首脳は2度目の会談を行い、世界経済情勢など共通の関心事項について協議した。

6. 4日朝、オバマ大統領はサッターム・リヤド州知事代理他に見送られ、リヤドを出発し、次の訪問地カイロへ向かった。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799